

山内賞報告

山内記念会

山内奨励賞の受賞者が次のように決まりました。この賞は、前年のプログラミング・シンポジウムにおける優秀な発表に対して授与されます。今回は、2010年1月の第51回の発表の中から選考しました。

山内奨励賞

西尾 泰和

「Virtual Star — 数学と論理による美の追及」

[推薦理由] 受賞者は、プログラムによって生成される Virtual Star と呼ぶ美術作品を発表している。この発表では、プログラミングと美術の関係、プログラミング上の工夫などについて述べ、その作品を解説した。

特に、対称性、規則正しさ、ゆらぎなどの概念に関連して、数学、プログラム、美学について一貫した主張を展開した点が注目される。このような議論を通じて、プログラムと芸術の双方に踏み込み、新しい分野への展開を試みた点が聴衆から高く評価された。プログラミングとしても、描画アルゴリズムなどに数々の工夫があり、興味深いものがある。発表は、プログラミングと美術の接点を明らかにしていて、わかりやすく参加者に感銘を与えるものであった。

なお、受賞者の作品 Virtual Star およびその改良版は、コンピュータグラフィックスの世界でも高く評価されており、TAGBOAT SUMMER AWARD 2009 で池内審査員賞に、ASIAGRAPH2009 では優秀作品に選ばれている。受賞者の作品が美術の世界でも高く評価されていることを付記する。